

数値目標等の設定について

1 成果目標：次期計画全体に共通する達成目標として設定

項目	現状	目標
消費者トラブルに遭った人の割合の減少	22.7% (2023年度)	減少 (2028年度)
消費者ホットライン 188 の認知度の向上	— 【参考】全国：31.5% (令和5年度第5回消費生活意識調査)	40%以上 (2028年度)

2 活動目標：施策体系に基づく取組を計画的に推進するために設定

●目標 1 消費者被害の救済・未然防止の強化

項目	現状 (2024年度)		目標
	7月末時点	年度末見込	
消費者安全確保地域協議会(高齢者等見守りネットワーク)の人口カバー率	93.0%		100%
消費者安全確保地域協議会構成員への情報提供回数	25.8回 ^{※1}		30回 (毎年度)
商品等の表示に係る店頭調査件数	10回	40回	40回 (毎年度)

●目標 2 主体性のある消費者の育成

項目	現状 (2024年度)		目標
	7月末時点	年度末見込	
教材等を活用した実践的授業の実施率	県立高等学校	93.3% ^{※2}	100% (毎年度)
	県立特別支援学校	93.3% ^{※2}	100% (毎年度)
	私立高等学校等	78.8% ^{※2}	80%以上 (毎年度)
消費者教育の推進に向けた出前講座の効果 (「よかった」と評価された講座の割合)	学校向け	90.5% ^{※2}	90%以上 (毎年度)
	一般向け	88.9% ^{※2}	90%以上 (毎年度)
「あいち暮らしWEB」・「エシカル消費ポータルサイト」へのアクセス件数	123,231件	369,693件	450,000件 (毎年度)
エシカル消費普及啓発事業の効果 (エシカル消費について理解できた人の割合)	60.2% ^{※2}		70%以上 (毎年度)

●目標 3 消費生活の安全・安心の確保

項目	現状 (2024年度)		目標
	7月末時点	年度末見込	
消費者事故の未然防止に向けた情報発信回数	40回	120回	120回 (毎年度)
消費生活モニターからの情報提供件数	88件	270件	300件 (毎年度)

※1：2020年度～2023年度の年平均

※2：2023年度実績